

ウォシュレット一体形便器施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

してはいけない「禁止」の内容です。
 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告		注意	
	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)		便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	交流100V以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)		給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)		止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)		施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)		給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)		連結ホースと分岐金具を必ずファスナーで正しく固定する (正しく固定しないとホースがはずれて水が噴き出します。)

取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は1281Wです。
この電力に適した配線をしているか確認してください。
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は0.07MPa(20L/min流動時)~0.75MPa(静止圧)です。
この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。

部品の確認

ウォシュレット本体

連結ホース

リモコン部品

リモコン
リモコンハンガー
乾電池(単3形×2個)
ねじ(3本)
アンカープラグ(3本)

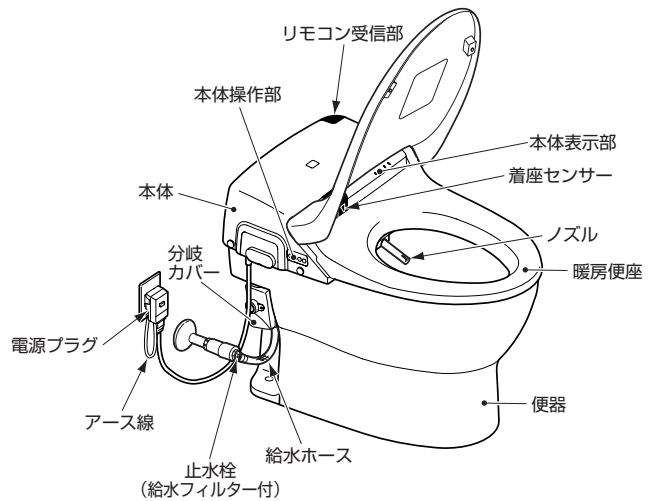
ウォシュレット本体固定具他

取付ボルト(2本)
固定ねじ(2本)
化粧キャップ(2個)
化粧カバー
キャップ
ねじ付

取扱説明書
使いかた説明シート
施工説明書(本書)
通信販売カタログ
フック

取扱説明書
使いかた説明シート
通信販売カタログ
施工説明書

各部の名称



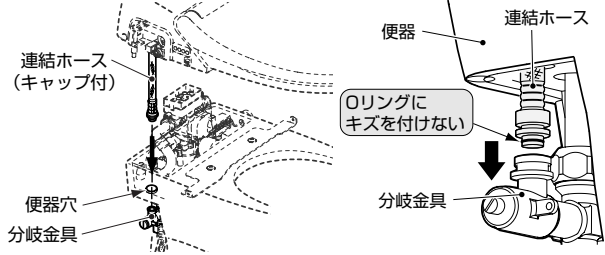
■ 施工の手順は次の通りです

この施工手順に従ってウォシュレットを正しく取り付けてください。詳しくは「**取付方法**」をご覧ください。

- 1 ウォシュレット本体を便器に**仮置き**する
※便器に固定しない
 - 2 **連結ホースと分岐金具の接続**
※試運転まで止水栓は開けないこと
 - 3 **便器洗浄バルブ用コネクタの配線**
 - 4 ウォシュレット本体を便器に**固定**する
 - 5 **アース線の接続**
 - 6 **リモコンの取り付け**
- **試運転（作動・水漏れチェック）**をする
- **分岐金具部に分岐カバーを取り付ける**

注意

- 連結ホースを便器穴に通すとき、ホースが折れないように注意する（ホースが折れると水漏れの原因になります。）
- 連結ホース先端のOリングにキズが付けない（Oリングにキズが付くと水漏れの原因になります。）



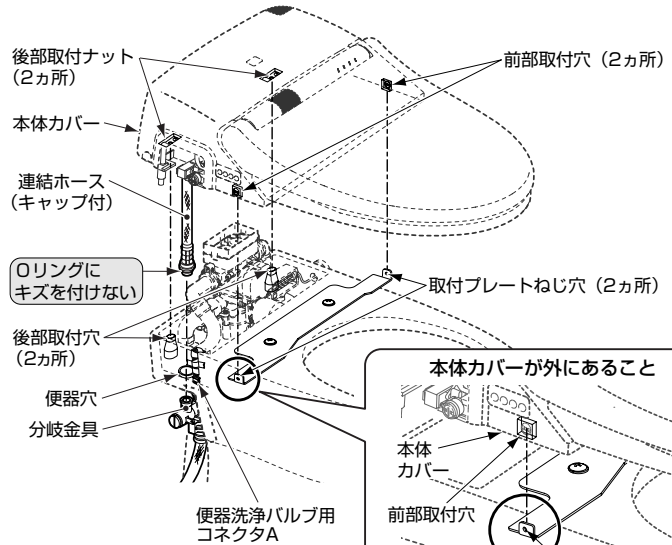
取付方法

1 ウォシュレット本体を便器に**仮置き**する

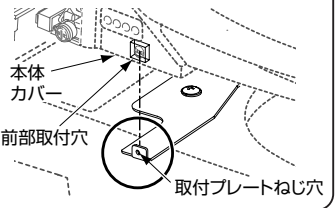
注意

※ウォシュレット本体の固定は必ず連結ホースを接続したあとに行ってください。（先にウォシュレット本体を固定すると連結ホースの接続がしにくくなります。）

- 1 連結ホース先端の**キャップ**をはずす
- 2 連結ホースを便器穴に通す
※便器洗浄バルブ用コネクタAを挟み込んでいないか確認してください。
- 3 前部取付穴を取付プレートねじ穴に合わせて便器に**仮置き**する



本体カバーが外にあること



2 連結ホースと分岐金具の接続

注意

- ※ 連結ホースを接続する前に止水栓を開けないでください。水圧がかかり連結ホースの接続がしにくくなる場合があります。
- ※ 水圧の抜き方
① 止水栓を閉める。
② 分岐金具のウォシュレット用止水栓を開けた状態で便器洗浄つまみ（レバー）を操作する。

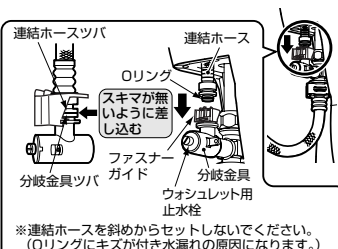


1 連結ホースを分岐金具に接続する

※製造時期によって分岐金具にファスナーガイドがある場合とない場合があります。

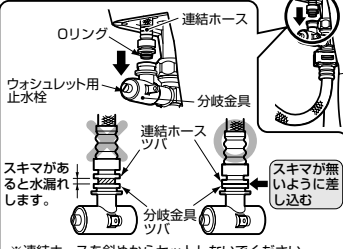
① 連結ホースを分岐金具に確実に差し込む

ファスナーガイドがある場合



※ 連結ホースを斜めからセットしないでください。（Oリングにキズが付き水漏れの原因になります。）

ファスナーガイドがない場合

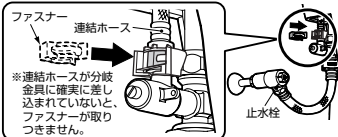


※ 連結ホースを斜めからセットしないでください。（Oリングにキズが付き水漏れの原因になります。）

② ファスナーで連結ホースと分岐金具を固定する

- ※ 確実にセットされホースが抜けないことを確認してください。
- ※ 確実にセットしないとウォシュレットが使用できません。
- ※ 分岐カバーは試運転で水漏れがないことを確認して取り付けてください。

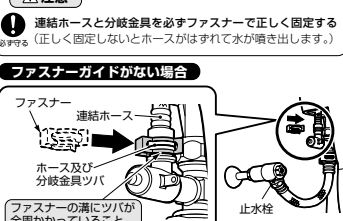
ファスナーガイドがある場合



ファスナーの取りはずし方



ファスナーガイドがない場合

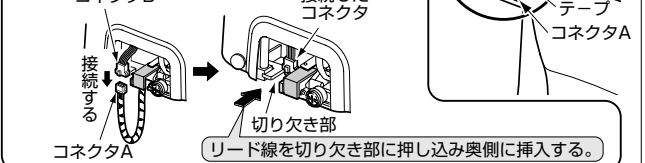


ファスナーの溝にツバが全周かかっていること

3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線

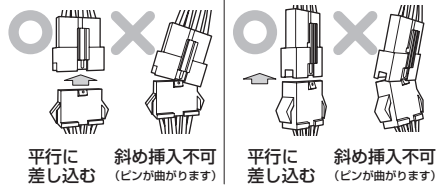
1 便器洗浄バルブ用コネクタを接続する

- ① コネクタAのテープをはずす
- ② コネクタBを引き出し、コネクタAと接続する（無理に引き出さない）
※コネクタの接続が確実か再確認してください。
- ③ 接続したコネクタA、Bを本体の中に取りめる
- ④ コネクタAのリード線を切り欠き部に押し込み、奥側に挿入する



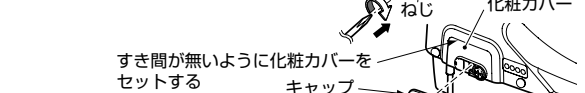
注意

斜めで押し込むと作動不良になります。



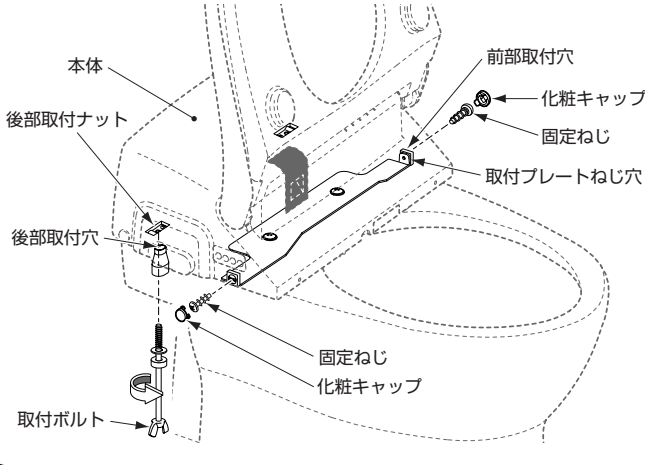
2 化粧カバーを取り付ける

- ① 化粧カバーをセットしてねじで固定する
- ② キャップを化粧カバーに取り付ける



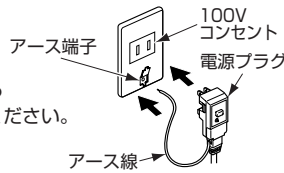
4 ウォシュレット本体を便器に固定する

- ①便座・便ふたを開ける（キズ防止及び施工をし易くするため）
- ②前部取付穴と取付プレートねじ穴を合わせ、固定ねじ（2カ所）で締め付ける
※固定ねじが締め付けにくいときは、本体を押さえてください。
- ③後部取付穴に取付ボルト（2カ所）を差し込み、後部取付ナットに締め付ける
- ④再度固定ねじ、取付ボルトの増し締めを行って確実に固定する
- ⑤前部取付穴に化粧キャップ（切り欠き部が下）を取り付ける



5 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



6 リモコンの取り付け

- ①裏面の電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる
※⊕⊖を間違えないでください。

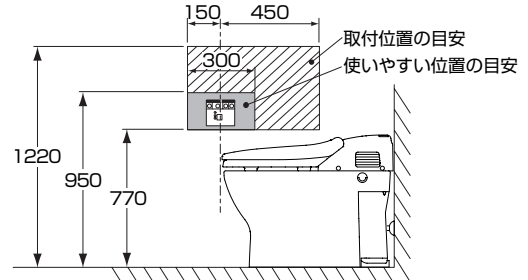
② リモコンの取付位置を決める

注意

- リモコンを取り付けるときは、必ず取付予定位置で操作を行い、おしり洗浄などがはたらくことを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

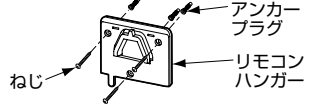
斜線のところが取付位置の目安です。

灰色のところが使いやすい位置の目安です。



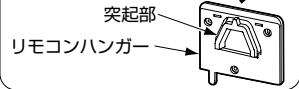
③ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6 深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



④ リモコンをリモコンハンガーにセットする

- リモコンハンガーの突起部に沿って上から差し込んでください。

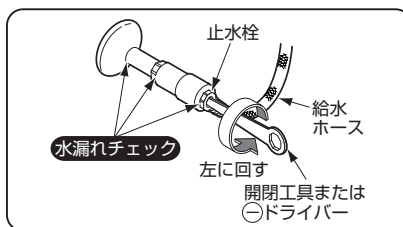
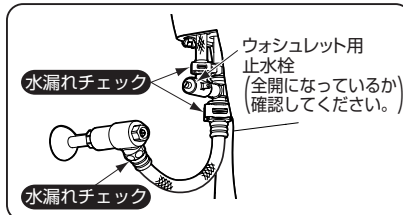


試運転

- 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。
 - 試運転の前及び試運転完了時は必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは「運転」ランプが点灯します。）
- お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

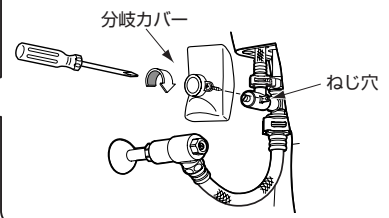
- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、ファスナーが正しくセットされているか、再確認する
- 止水栓（2カ所）を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



本体表示部



- 分岐金具の接続部から水漏れがないことを確認して分岐カバーを取り付けてください。



2 電源プラグの確認

- ① 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

Check! ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

- ② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

Check!

- 「切（テスト）」ボタンを押す → 「切表示」ランプ点灯
- 「入（リセット）」ボタンを押す → 「切表示」ランプ消灯
- 以上のように作動すれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

- 本体表示部の「運転」ランプが点灯していますか？

試 運 転

3 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)



着座センサー

2 脱臭機能を確認する

- 本体の右側面の吹出口より風が出ていますか？



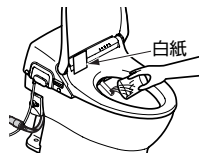
脱臭

3 パワー脱臭機能を確認する

- パワー脱臭入/切を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度、**○**パワー脱臭入/切を押すと通常の音に戻りますか？

4 洗浄機能を確認する

- 、**○**、**○**を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- ※水が出ないときは取付方法**2**を確認してください。
- を押すと水勢が変化しますか？
- を押すと止まりますか？



●吐水は紙コップなどで受けてください。

5 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

6 着座センサーの白紙をはずす

7 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 1分後に自動的に止まりますか？

8 オート洗浄機能を確認する

- 約5秒後に自動的に便器洗浄しますか？
- ※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。そのときは便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。

9 リモコン便器洗浄機能を確認する

- ※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- を押すと便器の水が流れますか？



10 流動による凍結予防の確認をする

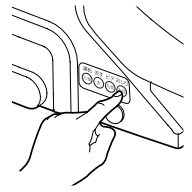
- ※着座センサーが感知するとおしり洗浄しますので注意してください。次の操作により一定の間隔で水を流して凍結を予防します。

① 本体操作部の**○**を10秒押す (凍結予防をはじめます。)

- 運転ランプが点滅しますか？
- 5分後にノズルの根元から水が出ますか？
- さらに5分後に便器洗浄しますか？

② 確認が終わったら再度**○**を10秒押す (凍結予防をやめます。)

- 運転ランプが点滅から点灯に変わりますか？
- ※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。



給水フィルターの掃除

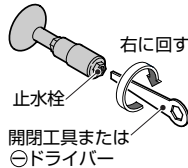
- 給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

- 止水栓を付属の開閉工具または**○**ドライバーで閉めてください。

△注意

- 止水栓を開けたまま給水フィルターをはずさない
- 水が噴き出します。

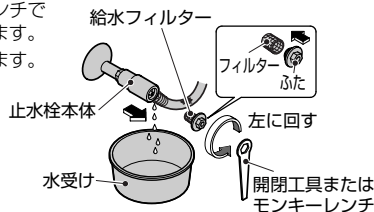


止水栓

開閉工具または**○**ドライバー

2 給水フィルターをはずす

- 開閉工具またはモンキーレンチでフィルターのふたをはずします。
- フィルターと一緒にはずれます。



給水フィルター

フィルター ぶた

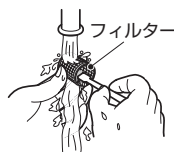
止水栓本体

左に回す

開閉工具またはモンキーレンチ

3 掃除をする

- フィルターを取りはずし、網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。
- ※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- ※止水栓本体の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



フィルター

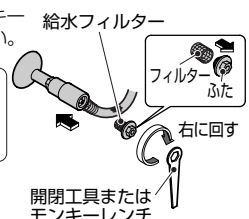
4 給水フィルターを取り付ける

- 元のように組み込み、開閉工具またはモンキーレンチでフィルターのふたを締めてください。

△注意

- 給水フィルターは確実に締める
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

！必ず守る



開閉工具またはモンキーレンチ

5 止水栓を開ける

- 止水栓を開閉工具または**○**ドライバーで開けてください。
- 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



止水栓

水漏れチェック

開閉工具または**○**ドライバー

工事店様へ

- 開閉工具は施工後必ずお客様へお渡しください。
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してあげてください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。(但し、凍結が予想される場合は、電源プラグは抜かないでください。)